



交流情報センターミナテラス



静かに過ごせる私の居場所 新しい情報に出会える知の拠点

- 館内で静かに過ごすことができる
- 毎週約100冊の新刊に出会える
- 1人最大10冊、2週間、本を借りることができます
- 町の歴史を語る資料を見ることができる

約10万冊の一般書、5万冊の児童書など幅広いジャンルの書籍がそろう益城町図書館。毎週土曜と第2・第4木曜日には「おはなし会」が開催されています。

①ソファでくつろぎながらゆっくり本を楽しむことができる館内
②毎日、毎週、毎月、新聞や雑誌も最新号が並ぶ



子どもが生まれる前は、中央公民館図書室で子どもの命の本などを借り、生きてからは図書館のおはなし会によく参加していました。館内は明るく開放的で、新刊も充実しています。子どもたちも大きくなり、宇宙やパソコン・プログラミングの本などを借りています。



左から藤本真之介さん、見川さん、細田さん、典子さん(広崎1町内)

図書館に来るのが楽しみで週4日、毎回4時間滞在しています。お気に入りの席で江戸時代の物語を読んでいるとあっという間!

気分転換に料理や園芸の本を読めるのも図書館の良いところ。ここで過ごす時間が大好きです。



UMEらいん



施設への交通手段として、のると UMEらいんや乗合タクシーもぜひご利用ください。



復興まちづくりセンターにじいろ
住 宮園 702 ☎ 284-1711
開 午前9時～午後10時
休 月曜日(祝日の場合は翌平日)



地域共生センターカタル
住 木山 592 ☎ 237-8822
開 午前9時～午後10時
休 月曜日(祝日の場合は翌平日)



コワーキングスペース Connet
住 宮園 404-1 ☎ 090-6513-5710
開 午前10時～午後10時
休 水曜日



交流情報センターミナテラス(図書館)
住 木山 236 ☎ 287-8411
開 水曜日 正午～8時
その他 午前10時～午後6時
休 月曜日(祝日の場合は翌平日)、第3金曜日



- 1にじいろを起点に震災記念公園から役場へつながる「記憶のプロムナード」
2追悼の場・震災記念公園
3勉強や打ち合わせは予約不要
4管理人さんが毎月開催するお月見会



復興まちづくりセンターにじいろ



2016(にじいろ)の記憶をつなぐ まちのエントランス

- 町や熊本地震のことを知ることができる
- 地域交流のきっかけをつくることができる
- 勉強や打ち合わせで使えるフリースペースが充実
- 交通広場発着のバスやタクシーの待ち時間に使える

2016は「にじゅういちろく」=「にじいろ」と呼ぶことができ、熊本地震を忘れないという記憶の継承の意味が込められています。

私が補助教員をしている広安小では、児童が地震や町を知る授業でにじいろを訪れます。

ふらっと来て住民主体で使えるのが魅力です。自分のやりたいことができるという自由さも、子どもたちに知ってほしいですね。



木下かおりさん(社団地)

コワーキングスペース Connet



つながりたい人、頑張りたい人、挑戦したい人が主役のみんなの場所

- 青春フェスタなど、挑戦したい人が企画者として関わることができる機会がある
 - 話したりしながらみんなで勉強・作業に取り組める
 - 個室があり打ち合わせなどでも使える
 - 勉強や挑戦したいことをスタッフに相談できる
- ※コワーキングスペースとは、異なる業種や職種の人々が共通の作業空間を共有しながら、それぞれ独立して作業する場所



普段は在宅勤務で、週末にここで仕事をするのが良い気分転換になっています。

カフェだと騒がしく感じることもありますですが、コネットは落ち着ける空間です。

利用者やスタッフにも学生が多く、頑張っている学生の姿が刺激になっています。



葛西美紗さん(安永1町内)

中学3年生の時、休日に放送委員の活動の打ち合わせをするために使用していました。

高校生になり、コネットで開催された「青春フェスタ」の企画にも参加しました。

普段から学生の利用が多く、人のつながりや交流が生まれる場だと思います。

